

Ⅱ 事業の概要

1 食肉衛生検査状況

(1) と畜検査頭数

平成21年度における総検査頭数は81,590頭で、畜種別内訳は、牛は7,722頭(和牛2,280頭、乳牛5,442頭)、豚は73,848頭、とく4頭、めん羊12頭、山羊4頭、馬0頭であった。年間の1日当たりの平均検査頭数は、牛32頭、豚306頭であった。

(2) 検査結果に基づく措置

検査の結果、と体の一部を廃棄するなどの処分をした総頭数は32,079頭(総検査頭数の39.3%)であった。

ア 禁止

と殺禁止した獣畜はなかった。

イ 全部廃棄

全部廃棄頭数は161頭で、畜種別では牛97頭、豚64頭であった。原因別では、豚丹毒22頭、膿毒症29頭、敗血症25頭、尿毒症3頭、高度の黄疸9頭、高度の水腫59頭、牛白血病13頭、全身性の筋肉変性1頭であった。

ウ 一部廃棄

筋肉、内臓の一部を廃棄したものは、31,918頭で、畜種別では牛5,128頭(処分率66.4%)、とく4頭(100%)、豚26,785頭(36.2%)、めん羊1頭(8.3%)であった。

(3) 病畜検査

生体検査時に起立不能、歩行困難等の異常があるなど、何らかの疾病が疑われた727頭の病畜を検査したが、畜種別では、牛713頭(98.1%)、とく3頭(0.4%)、豚11頭(1.5%)であった。

検査の結果全部廃棄処分したものは91頭(牛90頭、豚1頭)であり、畜種別の全部廃棄率としては牛12.6%、豚9.1%であった。

(4) TSE (BSE) スクリーニング検査

平成13年10月18日から、牛全頭に対してBSE(牛海綿状脳症)スクリーニング検査を開始し、平成17年10月1日からは、めん羊・山羊についても検査対象を拡げてTSE(伝染性海綿状脳症)スクリーニング検査を実施している。平成21年度の検査頭数は7,742頭(牛7,722頭、とく4頭、めん羊12頭、山羊4頭)であり、検査結果は全て陰性であった。

(5) と畜検査の詳細

ア 月別と畜検査頭数

月	総頭数	牛			馬	とく	豚	めん羊	山羊	開場日数
		和牛	乳牛	計						
4	6,707	187	462	649		6,055	3		21	
5	6,064	171	396	567		5,497			18	
6	6,555	158	432	590		1	5,963	1	22	
7	6,531	222	455	677			5,854		22	
8	6,305	182	465	647		1	5,656	1	20	
9	6,897	192	456	648			6,247	2	19	
10	7,452	225	463	688		1	6,762	1	21	
11	6,939	260	488	748		1	6,189	1	19	
12	7,178	180	489	669			6,508	1	19	
1	6,866	161	435	596			6,270		19	
2	6,822	153	418	571			6,249	1	1	19
3	7,274	189	483	672			6,598	4		22
21年度合計	81,590	2,280	5,442	7,722	0	4	73,848	12	4	241
20年度合計	72,044	2,143	5,449	7,592	1	11	64,424	7	9	240
前年度比(%)	113.3%	106.4%	99.9%	101.7%	-	36.4%	114.6%	171.4%	44.4%	100.4%

イ 月別病畜検査頭数

月	総頭数	牛			馬	とく	豚	めん羊	山羊
		和牛	乳牛	計					
4	55	5	50	55					
5	55	4	50	54			1		
6	69	4	62	66		1	2		
7	66	7	59	66					
8	69	6	62	68		1			
9	67	3	60	63			4		
10	62	5	57	62					
11	54	6	44	50		1	3		
12	57	5	52	57					
1	68	8	59	67			1		
2	44	5	39	44					
3	61	9	52	61					
21年度合計	727	67	646	713	0	3	11	0	0
20年度合計	893	67	806	873	0	6	14	0	0

ウ 産地別搬入頭数

産地	牛	馬	とく	豚	めん羊	山羊
鳥取市	741		2	1,912		
岩美町	7			515		
八頭町	360					
若桜町	86					
智頭町	31					
(東部地区計)	1,225	0	2	2,427	0	0
倉吉市	609			3,402		0
湯梨浜町	0			31		0
三朝町	87			0		0
北栄町	405			5,726		2
琴浦町	3,895		2	20,568		1
(中部地区計)	4,996	0	2	29,727		3
米子市	28			3	2	0
境港市				29		0
南部町	104			277		0
伯耆町	83			8		0
日吉津村						0
大山町	1,037			39,921	10	1
日南町	121			1,453		0
日野町	9					0
江府町	27					0
(西部地区計)	1,409	0	0	41,691	12	1
鳥取県合計	7,630	0	4	73,845	12	4

産地	牛	馬	とく	豚	めん羊	山羊
滋賀						
京都						
大阪						
兵庫	3					
奈良						
和歌山						
島根	33			3		
岡山	42					
広島	9					
山口						
徳島						
香川						
愛媛	5					
高知						
県外合計	92	0	0	3	0	0
総計	7,722	0	4	73,848	12	4

エ とう場内と殺頭数及び獣畜のと殺解体禁止又は廃棄したものの原因

区分	とう場と殺頭数	処理	処分実頭数	疾病別頭数													計											
				炭疽	豚丹毒	サルモネラ病	結核	ブルセラ病	破傷風	放線菌病	その他	ウイルス	トキソプラズマ病	その他	寄生虫病	腫毒		尿毒症	黄疸	水腫	腫瘍	中毒諸症	炎症又は炎症性産物に	変性又は萎縮	その他			
牛	7,722	禁止																										
		全部廃棄	97																							97		
		一部廃棄	5,128					1																			6,680	
		計	5,225				1																			6,777		
とく	4	禁止																										
		全部廃棄	4																									
		一部廃棄	4																									
		計	4																								4	
馬		禁止																										
		全部廃棄																										
		一部廃棄																										
		計																										
豚	73,848	禁止																										
		全部廃棄	64																									
		一部廃棄	26,785	22																								64
		計	26,849	22																							29,634	
めん羊	12	禁止																										
		全部廃棄																										
		一部廃棄	1																									
		計	1																								1	
山羊	4	禁止																										
		全部廃棄																										
		一部廃棄																										
		計																										
計	81,590	禁止																										
		全部廃棄	161	22																								161
		一部廃棄	31,918					1						17	1,817													36,319
		計	32,079	22			1					17	1,817														36,480	

才 病類別一部廃棄頭数

区分	疾病名	牛			とく	豚
		和牛	乳牛	計		
呼吸器系	肺炎(SEP様)					8,862
	〃(ヘモフィルス様)					451
	〃(その他の型)	90	253	343		6
	肺膿瘍					283
	胸膜炎	340	1,109	1,449		9,163
	小計	430	1,362	1,792		18,765
循環器系	心外膜炎	14	202	216		3,588
	心筋炎	4	13	17		
	小計	18	215	233		3,588
消化器系	胃炎	75	261	336	1	
	胃潰瘍		2	2		
	腸炎	41	255	296	1	6,678
	腸間膜水腫	1	2	3		7
	腸間膜脂肪壊死	242	14	256		
	腸結節虫	2	93	95		
	腸間膜抗酸菌症					462
	腸気泡症					
	肝炎(膿瘍型)	58	252	310		
	〃(鋸屑肝型)	548	835	1,383		
	〃(胆管炎型)	28	25	53		
	〃(その他の型)	41	104	145		960
	肝包膜炎	64	266	330		5,089
	退色肝	26	292	318		2,217
	肝硬変	5	37	42		1
	肝富脈版	53	110	163		
	肝蛭症	14	3	17		
寄生肝(豚回虫)					1,722	
腹膜炎	6	47	53		903	
	小計	1,204	2,598	3,802	2	18,039
泌尿・生殖器系	腎炎	90	268	358		1,629
	膀胱炎	18	80	98		71
	子宮内膜炎	34	134	168		62
	乳房炎		148	148		
	小計	142	630	772		1,762
運動器系	放線菌症		2	2		
	膿瘍	3	48	51		2,163
	関節炎	14	186	200		159
	骨折	7	16	23	2	11
	脱臼	8	54	62		2
	筋肉変性					42
	水腫	24	166	190		226
	褥瘡	9	168	177		835
	筋出血(打撲)	469	1,013	1,482	1	
	小計	534	1,653	2,187	3	3,438
炎症による内蔵全廃						1,025
腫瘍		1	1	2		3
黄疸			5	5		
合計		2,328	6,458	8,786	5	46,620
廃棄実頭数		1,524	3,604	5,128	4	26,785

カ 病畜疾病別検査頭数

畜種 病名		牛			とく	豚	合計
		和牛	乳牛	計			
全部 廃棄	膿毒症		1	1		1	2
	敗血症	1	9	10			10
	尿毒症		2	2			2
	高度の黄疸		8	8			8
	高度の水腫	9	50	59			59
	豚丹毒						
	白血病	1	9	10			10
	筋肉変性						
	小計	11	79	90		1	91
循環 器系・呼	心外膜炎	1	3	4			4
	肺炎	1	9	10			10
	肺膿種		1	1			1
	胸膜炎						
	小計	2	13	15			15
消化 器系	鼓脹症	1	1	2	1		3
	弛緩症						
	四胃変位		51	51			51
	創傷性胃炎	1	1	2			2
	胃炎	1	6	7			7
	腸炎	2	18	20		1	21
	腸間膜脂肪壊死	6	1	7			7
	腹膜炎	2	11	13			13
	肝炎		4	4			4
	肝膿瘍		3	3			3
	胆管炎						
	肝硬変						
	肝蛭症						
小計	13	96	109	1	1	111	
泌尿 器・生 殖器系	腎炎	1	1	2			2
	膀胱炎						
	尿石症	1	8	9			9
	臍ヘルニア						
	子宮蓄膿症	2	1	3			3
	子宮内膜炎	1	1	2			2
	子宮捻転						
	子宮脱・膣脱		3	3		1	4
	脱肛						
	乳房炎		102	102			102
難産		3	3			3	
小計	5	119	124		1	125	
運動 器系	骨折	6	14	20	2	1	23
	関節炎	12	156	168		3	171
	脱臼	8	52	60		2	62
	骨軟症						
	膿瘍		3	3			3
	筋間出血	1	7	8			8
	筋間水腫	1	1	2			2
	蹄病		13	13			13
	フレグモーネ		3	3			3
	小計	28	249	277	2	6	285
その 他	放線菌病		2	2			2
	熱射病						
	産後起立不能症	2	61	63			63
	原因不明起立不能症	3	19	22		1	23
	腫瘍	1		1			1
	その他	2	8	10		1	11
小計	8	90	98		2	100	
合計		67	646	713	3	11	727

(6) 試験室内検査実施状況

ア 行政検査（精密検査）

精密検査（と畜検査に係る検査）の実施頭数は699頭で、検査延件数は4,493件であった。

イ 受託検査

（株）鳥取県食肉センターから75件の委託を受けて細菌検査を実施した。

ウ 調査研究

と畜場内で採材した88頭の病理標本を作製し、食品衛生月間に器具や手指のふき取り検査を行い、また厚生労働省の委託を受けた厚生科学研究のチームに加わり、細菌検査を行う等、4,170件の検査を実施した。

エ TSEスクリーニング検査状況

7,742頭（牛7,726頭、めん羊12頭、山羊4頭）全頭につきTSEスクリーニング検査をおこなったが、その全てが陰性であった。

試験検査の状況

(ア) 行政検査（と畜検査に係る検査）

畜種	検査区分	検査頭数	顕微鏡検査	微生物検査	病理組織検査	理化学検査	検査延件数
牛		426	154	1,423	161	240	1,978
豚		273	462	2,050	0	3	2,515
合計		699	616	3,473	161	243	4,493
平成20年度		632	561	7,358	172	76	7,443

(イ) 受託検査

項目	検査区分	受託件数	顕微鏡検査	微生物検査	病理組織検査	理化学検査	検査延件数
ふきとり検査	牛	26		26			26
	豚	49		49			49
合計		75	0	75	0	0	75
平成20年度		77	0	77	0	0	77

(ウ) 調査研究

項目	検査区分	検査頭数	顕微鏡検査	微生物検査	病理組織検査	理化学検査	検査延件数
一般病理検査		88			94		94
微生物汚染防止		261	328	2,035			2,363
拭き取り（汚染源追求）		107		321			321
精度管理		6	2	52		30	84
厚生科学研究		77		462			462
その他		283		62		784	846
合計		822	330	2,932	94	814	4,170
平成20年度		873	179	5,149	88	179	5,595

(エ) T S E スクリーニング検査状況

月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
分類	ア 生後24ヶ月齢以上の牛のうち、生体検査において運動障害、知覚障害、反射又は意識障害等の神経障害が疑われるもの	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	イ 生後30ヶ月齢以上の牛	160	129	166	211	183	203	209	247	201	183	164	225	2,281
	ウ その他(ア及びイ以外の牛)	489	438	425	466	465	445	480	502	468	413	407	447	5,445
	エ めん羊、山羊	3	0	1	0	1	2	1	1	1	0	2	4	16
	計	652	567	592	677	649	650	690	750	670	596	573	676	7,742
	陽性	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

2 と畜場等の衛生管理指導

(1) 枝肉等の衛生度把握

と畜場の衛生状態を把握するため、枝肉及び器具類の拭き取り検査を実施し、検査結果に基づき衛生指導を行った。

拭き取り検査結果

区分	項目	実施回数	件数	成績	<10	10 ^{1~2}	10 ^{2~3}	10 ^{3~4}	10 ^{4~5}
枝肉	〇157	12	36	陰性36	-	-	-	-	-
	大腸菌群数 ($\frac{1}{1\text{cm}^2}$)	59	736		726	9	1		
	一般細菌数 ($\frac{1}{1\text{cm}^2}$)	59	735		60	314	305	55	1
食肉	大腸菌群数 ($\frac{1}{1\text{cm}^2}$)	1	6		6				
	一般細菌数 ($\frac{1}{1\text{cm}^2}$)	1	6		1	3	2		
器具類	大腸菌群数 ($\frac{1}{1\text{cm}^2}$)	2	24		15	2	3	4	
	一般細菌数 ($\frac{1}{1\text{cm}^2}$)	2	34		9	10	6	5	4

(2) 食品衛生月間

食品衛生月間(8/1~8/31)に合わせて枝肉等の拭き取り検査を実施し、家畜の出荷者に対しては清潔な生体搬入を、食肉業者には衛生的な食肉の取扱いを呼びかけるビラを配布した。さらにと畜場入り口に垂れ幕及び立て看板を設置して来場者の衛生意識の高揚を図った。

(3) 従事者の衛生教育

と畜従事者全員を対象として、と畜場の衛生管理及び衛生的なと畜処理等についての講習を行った。

従事者の着衣・器具について、消毒前後のふきとり検査等を実施し、その結果と作業実態に基づいた衛生講習を行い、理解を深めた。

(4) 食品営業許可施設の監視指導

と畜場に併設する食肉処理業、食品の冷凍冷蔵業等の食品営業許可施設については、毎月1回監視を実施し、不適事項については改善するよう指導した。

3 と畜検査データフィードバック事業

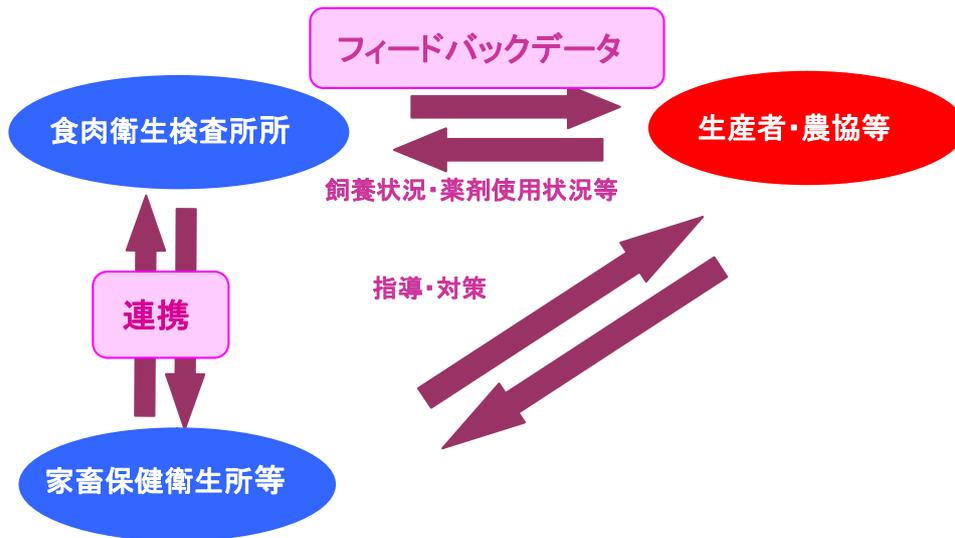
(1) 生産者等へのフィードバック

食肉の安全性確保対策の一環として、平成6年4月から検査データ・フィードバック事業を継続している。

と畜検査で得た家畜の疾病状況を1ヵ月ごとのデータとして取りまとめ、家畜保健衛生所及び生産者へフィードバックしている。

当検査所、家畜保健衛生所及び生産者が連携、協力していくことで、家畜の疾病排除、疾病予防、生産性の向上、ひいては安全な食肉の提供に寄与している。

検査データ還元フロー



フィードバック事業参加者

区分	牛	豚
家畜保健衛生所	3	3
生産者	32	27

(2) 臨床獣医師へのフィードバック

臨床獣医師から診断動物についての検査内容にかかる問い合わせが41件あり、健康な家畜の生産現場との連携を図った。

4 検体採取等の協力

依頼者	検査目的	検体
鳥取大学農学部獣医学科	受精卵移植に関する研究	豚及び牛の卵巢
	牛の蹄病に関する研究	牛の後肢蹄関節
(株) 西日本 J A 畜産名和農場	豚病変の確認検査	豚の肺
鳥取県福祉保健部健康対策課	日本脳炎、感染症流行予測調査	豚の血液
(独) 家畜改良センター鳥取牧場	牛の体外受精試験	牛の卵巢
	超音波画像診断技術研修会	牛の子宮及び卵巢
鳥取県農林総合研究所畜産試験場	牛受精卵の凍結保存、融解技術の開発	牛の卵巢
(社) 家畜改良事業団家畜バイオテクセンター	牛の体外受精のための卵子採取	牛の卵巢
鳥取県倉吉農業高等学校	畜産実習 (牛の生殖器構造)	牛の子宮及び卵巢 雄生殖器
鳥取県倉吉家畜保健衛生所	家畜人工授精師の講習会	牛の子宮及び卵巢

5 調査、研究

豚と畜解体ラインで、より衛生的な処理が行われるよう、枝肉等の細菌汚染状況について調査し、解体ラインの各工程について指導の一助となるよう努めた。

6 食肉衛生検査所 P R 事業

食肉の安全安心に対する消費者等の関心の高まりとともに、食肉衛生検査所へ来所する人が増加傾向にある。21年度には下記の視察・研修を受け入れ、事業説明・P R等を積極的に行った。

来訪等団体名簿及び実施講習会

月 日	来訪団体名	人数	備 考
6月1日(月)	生活環境部関連新規採用職員	20名	視察研修
6月3日(水)	鳥取大学医学部付属病院	4名	医師卒後臨床研修
7月6日(月)	鳥取大学医学部付属病院	4名	医師卒後臨床研修
9月9日(水)	鳥取大学医学部付属病院	4名	医師卒後臨床研修
10月13日(火)	倉吉農業高等学校生徒及び担当教諭	13名	就業準備出前講座(農業教育支援事業)
10月21日(木)	鳥取大学農学部獣医学科5年次学生及び担当教官	39名	公衆衛生学実習
10月26日(月)	大山ハム株式会社	4名	視察研修
合 計			88名